



訓練参加団体(順不同)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 大村消防署 | 大村市医師会 |
| 大村市消防団 | 九州電力 |
| 県防災航空隊 | 長崎県建設業協会 |
| 大村警察署・県警航空隊 | 九州ガス |
| 九州管区警察局 | 大村市危険物安全協会 |
| 海上自衛隊第22航空群 | 長崎県LPガス協会 |
| 陸上自衛隊第16普通科連隊 | 水道局 |
| 陸上自衛隊第7高射特科群 | 大村市女性防火クラブ連絡協議会 |
| 日本赤十字社 | タナカ電装 |
| 大村市赤十字奉仕団 | さつき台町内会自主防災組織 |
| 日赤無線奉仕団 | 鬼橋町自主防災組織 |
| FMおおむら | 松並2丁目町内会自主防災組織 |
| 長崎医療センター | 向陽高等学校看護専攻科 |
| 大村市民病院 | 大村市 |

訓練の想定内容

午前7時15分、大村市北部を震源とする強い地震が発生。気象庁は緊急地震速報(警報)を発表した。地震の規模はマグニチュード7.1と推測され、大村市で震度6強を観測。市内で土砂崩れなどが多数発生し、市民に対し避難勧告が発表され避難を開始。さらに、家屋や建設中の高層ビルなどの倒壊による生き埋めや火災が発生。また、電気・電話・ガス・水道などのライフラインの寸断もいたるところで発生した。

このため、市長は「大村市災害対策本部」を設置し、市職員の非常招集、全消防団員の非常招集、自衛隊への災害派遣要請および関係の防災機関に対し、出動と支援要請を行った。

9月11日(日) 県消防学校グラウンド



関係機関や市内の団体、事業所、自主防災組織など28団体、約900人が参加して「総合防災訓練」を実施しました。

今回の訓練は、東日本大震災の発生を踏まえ、大地震が発生したという想定で、各機関が連携して一刻も早く対応できる体制づくりの確立を目指して行われました。

訓練では、ヘリコプターや消防車のほか、自衛隊の特別車両など普段見られないような車両も登場して、本番さながらの訓練に、見学した市民の皆さんは改めて防災意識の大切さを実感しました。

今後、2年に1回訓練を行い、市民の皆さんへ自主防災組織の結成や防災意識の高揚を図っていきます。

第5回

大村市総合防災訓練 を実施しました